

重点項目①

「もっと楽しい授業」に向けた授業改善

数値指標 (1.50以上)

児童「授業は楽しい・授業の内容はよくわかる」
(結果2.05)

保護者「子どもたちにとってわかりやすい授業が行われている」 (結果1.29)

教員「『もっと楽しい授業』を目指し、児童のみとりにも、児童の考えや発言を大切に、主体的・対話的で深い学びの実現に向け取り組んでいる。」 (結果：個人1.15/学校1.41)

重点項目②

児童理解に基づく「思いやりの心」の育成

数値指標 (1.50以上)

児童「わたしは、思いやりのある生活をしている」 (結果1.66)

保護者「子どもたちは、思いやりのある生活をしている」 (結果1.08)

教員「児童が、周りの人を大切にしながら生活できるように、思いやりの心を育成している。」
(結果：個人1.53/学校1.21)

重点項目③

自主・自立の力を養い、自己肯定感を高めた「豊かな学び」の実現

数値指標 (1.70以上)

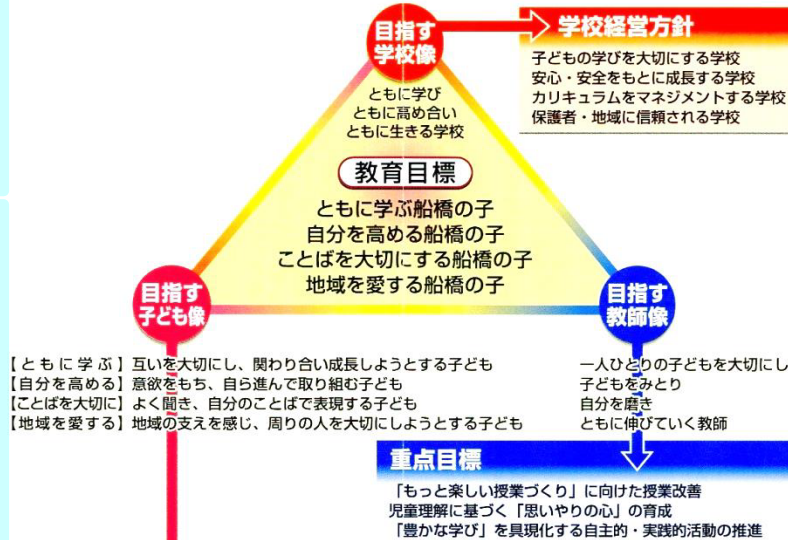
児童「毎日の学校生活が楽しい」 (結果1.98)

保護者「学校全体に活気ある」 (結果1.75)

教員「子どもが学校生活は楽しいと感じ、学校全体に活気あふれるように工夫して指導している」 (結果：個人1.65/学校1.47)

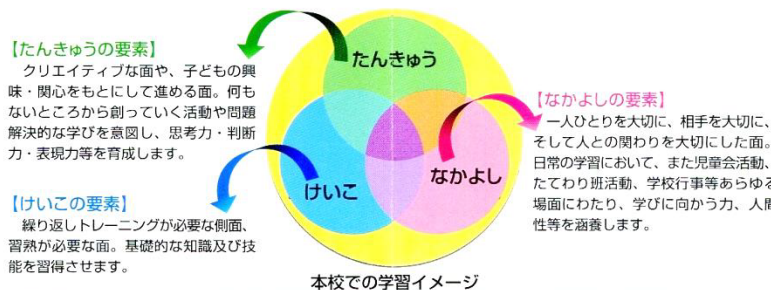
基本理念 はじめに子どもありき

教職員は、子ども自身が何を考え、何を思い、何を感じているのかを大切にします。
教職員は、子どもとともに伸びます。
教職員は、子どもの事実をみとります。
教職員は、子どもから出発し、子どもに戻ります。



本校の学習

各教科や特別活動、学校行事等と広い範囲にわたり、全ての学習に以下の3つの要素があります。



令和元年度の主な取組

- ICTの積極的・効果的な活用、船橋希望学舎での研究(NIE、演劇教育)、学校図書館の活用を推進する。
- あいさつ運動、相談活動、話し合いやふりかえりを大切に活動、たてわり班活動等について幼保・小・中と連続した成長を考慮して取り組む。
- 委員会活動、クラブ活動、オリンピック・パラリンピック教育、食育、情報教育等、体験的な活動とおして児童の主体性を育み、児童の活動や学びを価値付ける。

考察

- 演劇的手法は、子ども全員に参加する場を与えることができ、主体性を生みやすい。NIEは、子どもが社会情勢に興味をもち、情報活用能力も向上する。教員は、週1回の学年会で学習進度や課題を共有することが、子どもの育成に効果があると実感している。
- 教員はマニュアルにより、教員一人一人が同じ姿勢で指導にあたることができていると実感している。また、教員が休み時間に一緒に遊んだり、子どもに寄り添う姿勢でいたりすることで、小さな問題や課題にも気付くことができ、迅速に教職員が連携し問題解決に努めることができていると実感している。
- 委員会では、掲示板の活用やポスター制作を行い、クラブでは、活動内容を考えて取り組む姿が見られた。食育では、お箸名人や和食の日を新たに実践した。船っ子まつりでは、ゴミの削減等、環境にも配慮して活動した。このように、自分の力を発揮したり子どもたち同士で関わりながら課題を解決したりする様子が見られた。

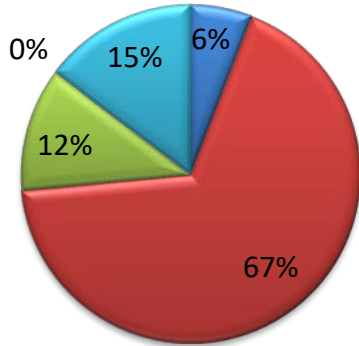
令和2年度 教育課程編成の方向性 (新規重点)

- 「子どもと創るカリキュラム」子ども一人一人に応じた指導を充実し、総合的な学習の時間を柱に主体的・対話的で深い学びの在り方を研究する。
- 「危機回避、危険予測能力」あいさつ運動の継続とともに、子どもの思考力・判断力の育成を通して、たくましく健全な精神を培う。
- 「非認知型能力」特別活動や学校行事の充実の継続とともに、コンピテンシー育成に向けた教育活動を推進する。

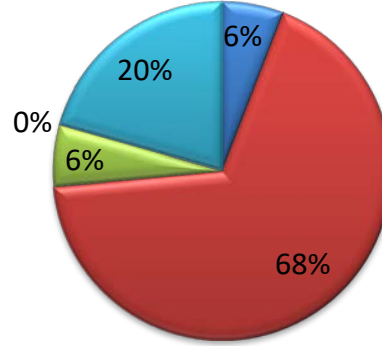
※コンピテンシー：単なる知識・技能だけでなく、様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力

学習指導について（課題のある項目）

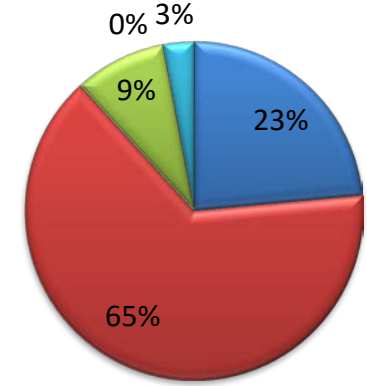
学習習得確認調査や他の学力調査、また体力調査等から課題を理解し、指導の手だてを考え、実践している。



新学習指導要領について理解し、指導を進めている。

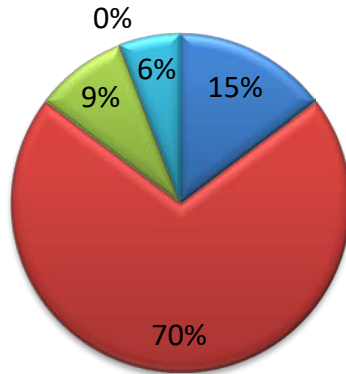


様々な学習の機会に、情報活用能力の育成を意識し、ICT等を積極的に活用している。



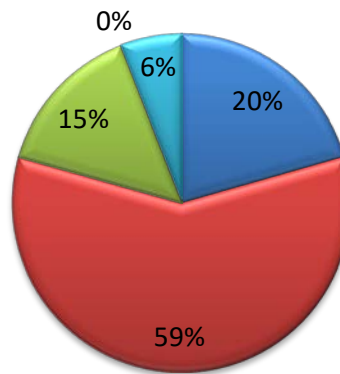
広報活動・情報提供について(課題項目)

教育目標や重点目標を意識し、児童や保護者への周知を図っている。

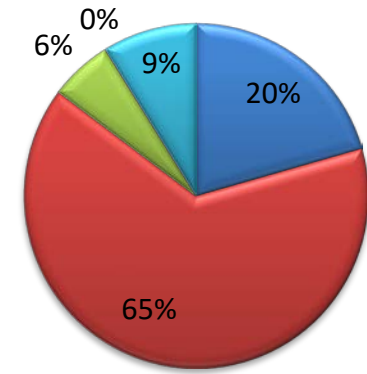


地域との連携について（課題のある項目）

児童の学習に、地域の人材や環境を生かそうと取り組んでいる。



地域との良い関係を持ち、児童の生活環境を意識した指導を心掛けている。



令和2年度の取組の方向性

①「授業力向上担当の設置」

校務分掌の四部会内に授業力向上担当を設置し、学習指導要領の理解や教育課題に応じた学習指導力の向上を図る。

②「ホームページや保護者会の充実」

ホームページや保護者会の内容を充実させて、学校の教育課程を保護者や地域社会にさらに開いていく。

③「各教科等における年間指導計画の充実」

地域資源や人材のさらなる活用を図る教科横断的カリキュラムを編成し、コミュニティ・スクールの具現化に資する。

- A (とても思う)
- B (思う)
- C (あまり思わない)
- D (思わない)
- E (分からない)